

ミズノ株式会社

第98期(2011年3月期)

決算説明資料



・この説明資料には、2011年5月19日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
・世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

- ◆ 10年度業績結果について
- ◆ カテゴリー別概況
- ◆ 環境活動
- ◆ 所在地別の概況
- ◆ 11-13年度の中期計画

損益計算書(累計)



◆ ランニングシューズの成長により、増収増益。欧州・米州も好調に推移。

| (億円) | 09年度累計実績 | 10年度累計実績 | 前期比(%) |
|---------|----------|----------|--------|
| 売上高 | 1,487 | 1,500 | +0.9% |
| 売上総利益 | 606 | 630 | +3.8% |
| 売上総利益率 | 40.8% | 42.0% | +1.2P |
| 販売管理費 | 579 | 584 | +0.8% |
| 販売管理費率 | 38.9% | 38.9% | ±0.0 |
| 給与手当・賞与 | 199 | 200 | +0.4% |
| 広告宣伝費 | 105 | 106 | +0.6% |
| 営業利益 | 28 | 46 | +65.2% |
| 営業利益率 | 1.9% | 3.1% | +1.2P |
| 経常利益 | 31 | 45 | +46.3% |
| 経常利益率 | 2.1% | 3.0% | +0.9P |
| 純利益 | 16 | 28 | +77.1% |
| 円/1USD | 93.5 | 87.7 | |
| 円/1GBP | 147.2 | 133.1 | |
| 円/1EUR | 130.5 | 113.5 | |

貸借対照表



◆ 営業キャッシュフローにより、有利子負債を圧縮。

| (億円) | 09年度末 | 10年度末 | 前期増減 |
|---------------|-------|-------|------|
| 資産合計 | 1,288 | 1,285 | △4 |
| 現金及び預金 | 125 | 135 | +10 |
| 受取手形及び売掛金 | 325 | 328 | +3 |
| 在庫 | 243 | 249 | +6 |
| 固定資産 | 389 | 377 | △11 |
| 投資有価証券 | 80 | 71 | △9 |
| 繰延税金資産(流動・固定) | 45 | 50 | +5 |
| 負債合計 | 529 | 533 | +4 |
| 短期有利子負債 | 88 | 116 | +28 |
| 長期有利子負債 | 108 | 58 | △50 |
| その他負債 | 333 | 359 | +25 |
| 純資産合計 | 759 | 752 | △7 |

業績結果の概要(累計)



◆ 欧州、米州での成長と好調なランニングシューズにより利益増加。

◆ 仕入コストの低減による売上総利益率の増加

対前年

売上 1,500億円 13億円増(0.9%増)

換算為替の影響 Δ 28億円 (1.8%減)

為替影響以外の増減 +41億円 (2.7%増)

- ▶ 為替ニュートラルでは欧州・米州ともに2桁成長。
- ▶ 高付加価値のランニングシューズが売上を牽引した。

営業利益 46億円 18億円増(65.2%増)

- ▶ 販管費は前年並みだが、ランニングシューズの売上拡大と仕入コストの低減により、売上総利益率が改善された。

経常利益 45億円 14億円増(46.3%増)

- ▶ 海外通貨の円換算に起因する為替差損など。(当期末 \yen 133.88/GBP, \yen 117.52/EUR 前期末 \yen 140.37/GBP, \yen 124.89/EUR)

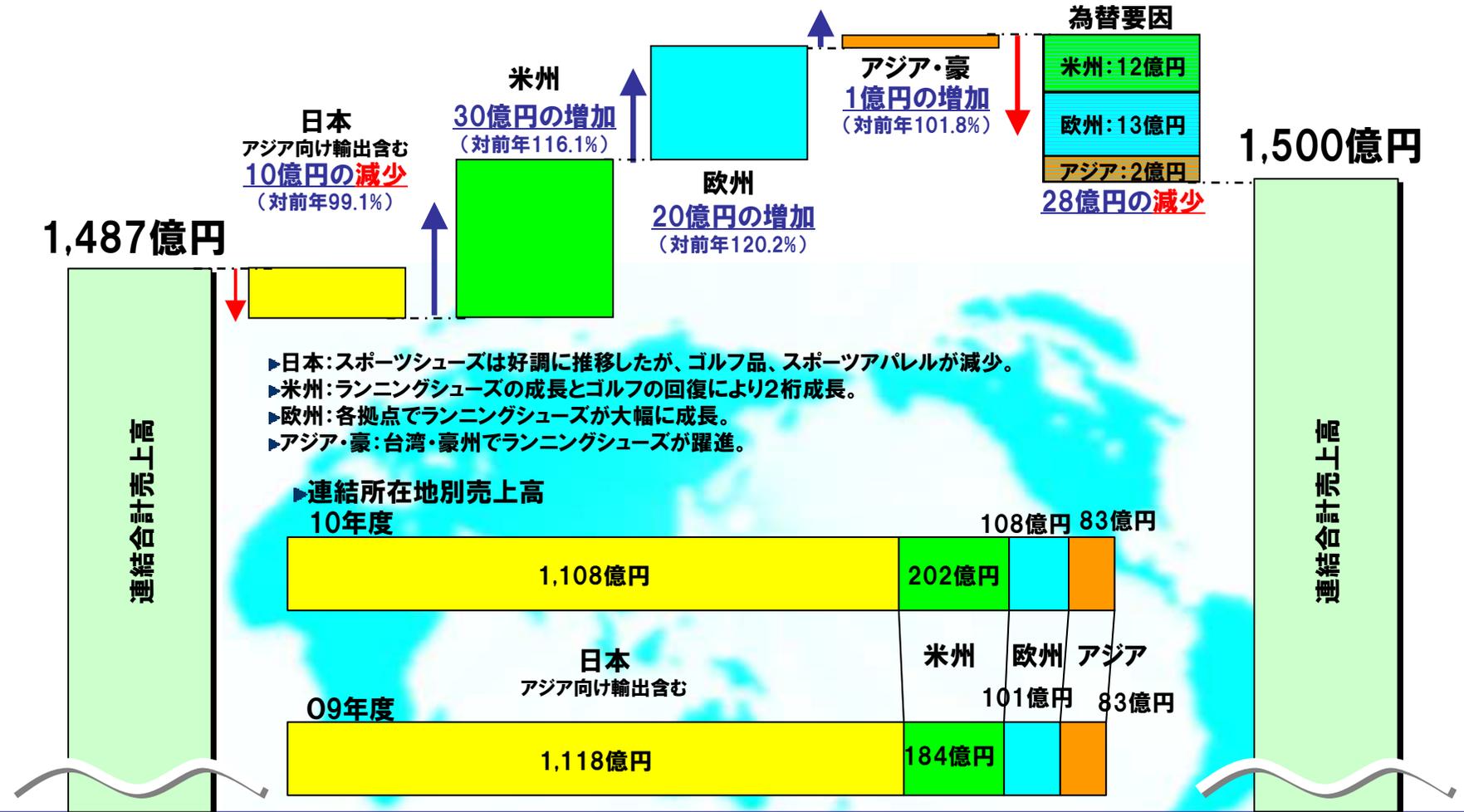
純利益 28億円 12億円増(77.1%増)

- ▶ 営業利益の増加に伴い、当期純利益も増加。

売上の増減分析 - 所在地別



◆ 換算為替の影響を除いた所在地別の売上増減と換算為替影響



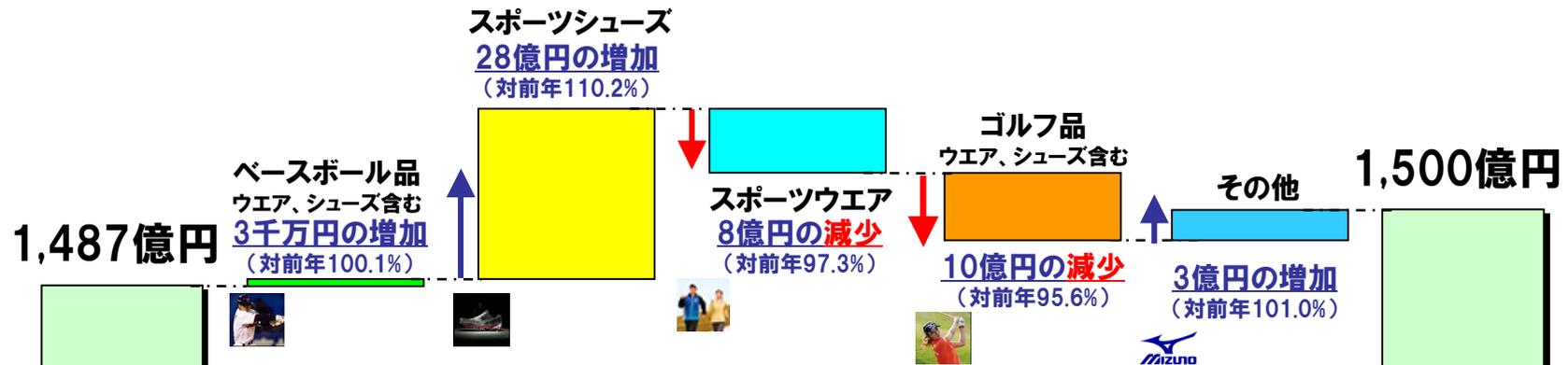
09年度

10年度 6/17



売上の増減分析 — 商品別

◆ 為替の影響を含む、連結商品別の売上増減



- ▶ベースボール品:アメリカでの売上堅調で横ばいを維持。
- ▶スポーツシューズ:全てのエリアで好調。欧州・米州では更なる市場拡大の可能性。
- ▶スポーツウェア:日本で減収。高機能製品は堅調に推移。
- ▶ゴルフ品:欧州・米州とも現地通過ベースでは回復。

▶連結商品別売上高

10年度

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 374億円 | 312億円 | 292億円 | 234億円 | 288億円 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

ベースボール品

スポーツシューズ

スポーツウェア

ゴルフ品

その他

09年度

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 373億円 | 283億円 | 299億円 | 245億円 | 285億円 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

09年度

10年度 7/17

主な経営指標



◆ 収益性の向上により、ROA・ROEともに改善。

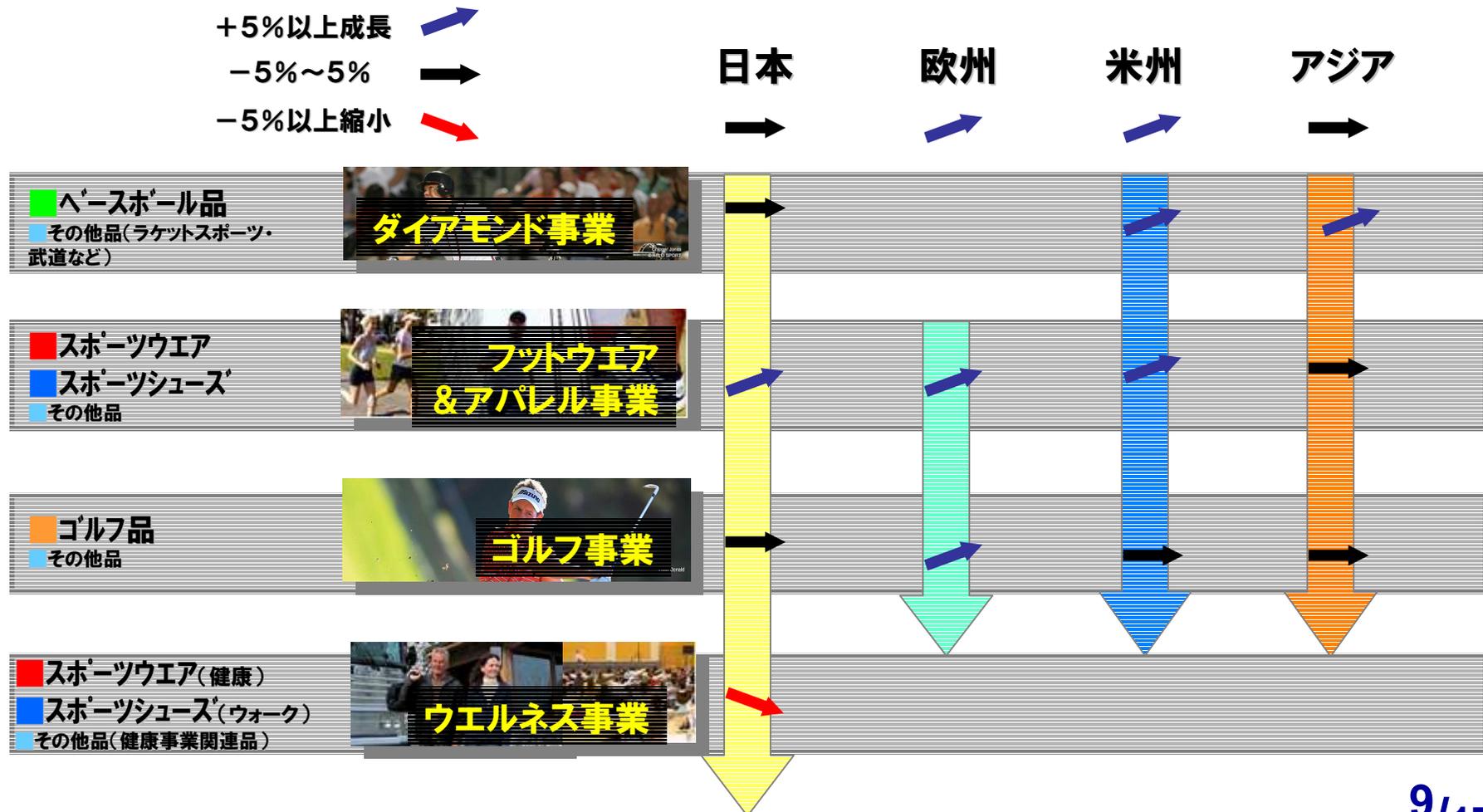
| | 09年度 | 10年度 | 前期増減 |
|-----------------|---------|---------|--------|
| 総資本事業利益率(ROA) | 2.3% | 3.8% | +1.5P |
| 自己資本利益率(ROE) | 2.1% | 3.8% | +1.7P |
| 自己資本比率 | 58.8% | 58.4% | △0.4P |
| 一株当り利益(EPS) | ¥12.86 | ¥22.78 | +¥9.92 |
| 一株当り純資産(BPS) | ¥607.87 | ¥602.19 | △¥5.68 |
| 株価純資産倍率(PBR)(倍) | 0.68 | 0.59 | △0.09 |
| 基準株価(各年度3月末日) | ¥413 | ¥354 | — |
| 配当性向 | 77.8% | 43.9% | — |

各リージョン、事業の概況



◆ グローバル ビジネス ユニット(グローバルな戦略意思決定の単位)

◆ 10年度売上高の概要(対前年成長率) 為替の影響を除いた現地通貨ベース



10年度 実績(累計) 日本



◆ 実績概要と推移

金額:億円

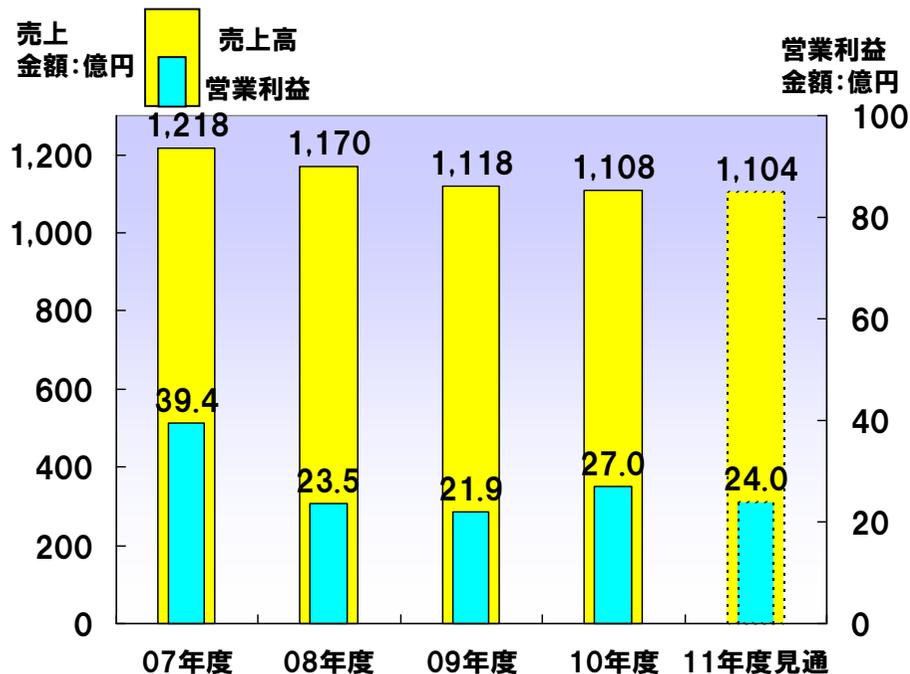
▶ 10年度累計 実績(事業別)

(アジア輸出含む)

| | 日本計 | フットウェア & アパレル | ダイヤモンド | ゴルフ | ウエルネス | その他 |
|-----|-------|---------------|--------|-----|-------|-----|
| 売上高 | 1,108 | 308 | 384 | 131 | 181 | 104 |
| 前期比 | 99% | 107% | 97% | 98% | 90% | - |

◆ 10年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 機能性の高いランニングシューズの販売促進を強化し、シリアスランナーからの支持を獲得。
- ◆ ダイヤモンド事業: 国内野球市場の縮小や買換え需要のサイクル長期化により減少するも、マーケットシェアは維持。
- ◆ ゴルフ事業: JPXシリーズを核とし、販売の効率化を進めた結果、売上横ばいながら利益率向上。



◆ 今後の施策・展望

- ◆ フットウェア & アパレル事業: より高い機能を備えた商品の投入によるシェアアップ、チームスポーツウェアへの積極的取組み。
- ◆ ダイヤモンド事業: トッププロを採用したプロモーション活動、グローバルエリートの販売促進により、ターゲット層の拡大を目指す。
- ◆ ゴルフ事業: アベレージゴルファーへの拡販強化。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

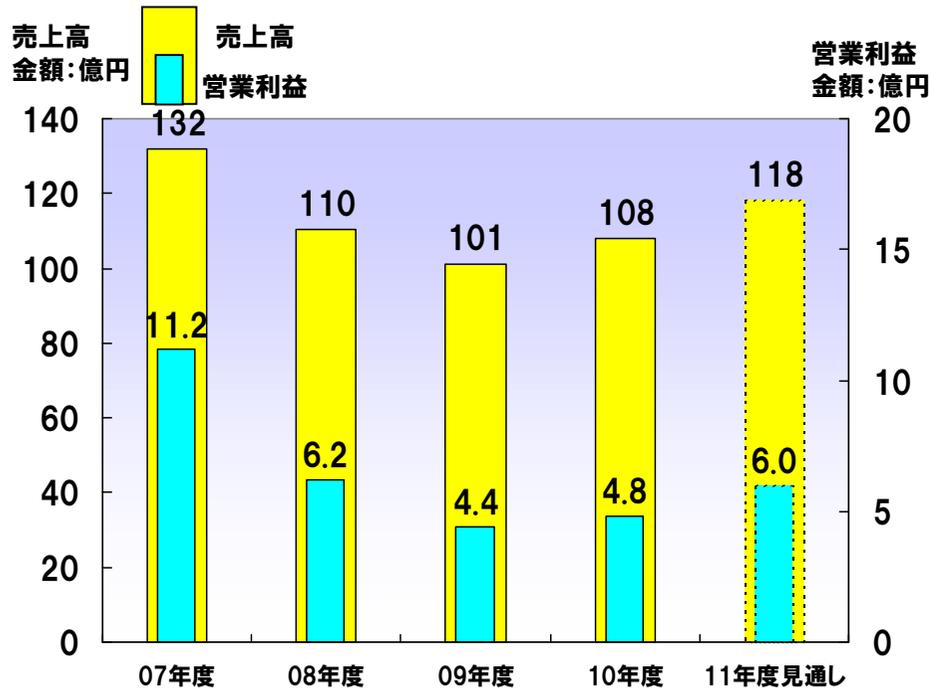
10年度実績(累計) 欧州



◆ 実績概要と推移

▶ 10年度累計 実績(事業別) 金額:億円

| | 欧州計 | フットウェア & アパレル | ゴルフ |
|------------|------|------------------|------|
| 売上高 | 108 | 73 | 35 |
| 前期比 | 107% | 109% | 98% |
| 為替影響 除く | 120% | 122% | 110% |



◆ 10年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: WAVE機能搭載のランニングシューズが多くのシリアスランナーに支持され、好調な売行きをみせた。新規ユーザーの開拓に精力的に努めた。
- ◆ ゴルフ事業: 長年PGAツアーをサポートしてきたワークショップカーのリニューアルにより、ブランド力向上に寄与し、JPX800アイアンが英国、北欧で堅調。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 各地のマラソンイベントにおける効果的なプロモーション活動などにより、一層のシェア拡大を目指す。
- ◆ ゴルフ事業: Performance Fitting Systemにより、技術力の優位性を一層強く訴求していく。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

10年度実績(累計) 米州

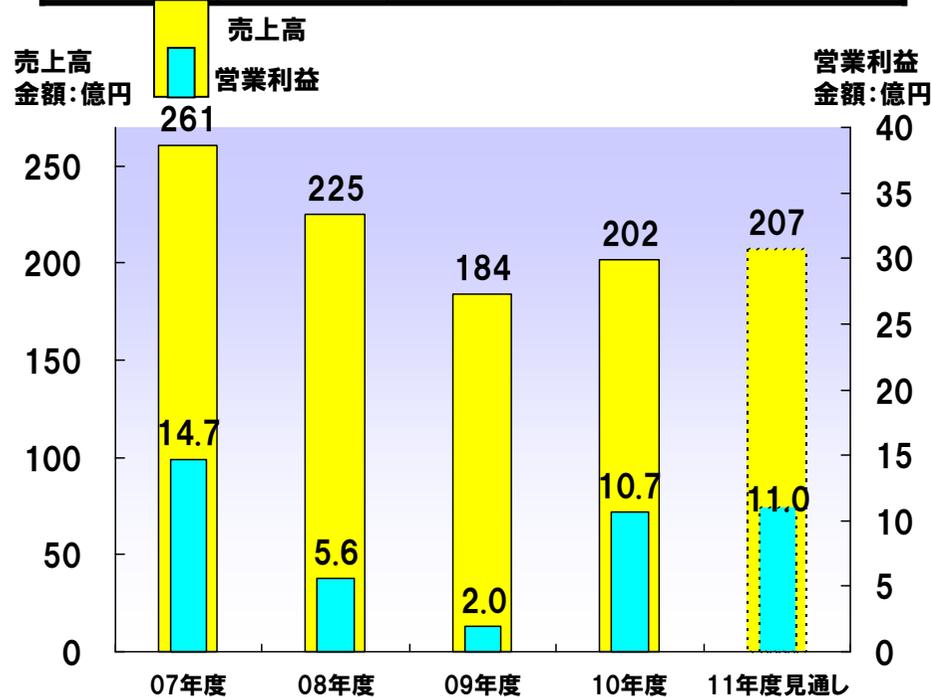


◆ 実績概要と推移

▶ 10年度累計 実績(事業別)

金額:億円

| | 米州計 | フットウェア & アパレル | ダイヤモンド | ゴルフ |
|------------|------|------------------|--------|------|
| 売上高 | 202 | 92 | 68 | 41 |
| 前期比 | 110% | 120% | 104% | 98% |
| 為替影響 除く | 116% | 124% | 111% | 103% |



◆ 10年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 専門店、大型店ともにランニングシューズの販売が好調に推移。
- ◆ ダイヤモンド事業: チーム・大型店ともに受注が回復。
- ◆ ゴルフ事業: 新フィッティングシステム導入店の増加により、売上回復。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ 全般: Webの活用など、ユーザーコミュニケーションをマーケティングの核として、米州市場でのブランドポジションを高める。
- ◆ 引き続き、ランニング分野を成長の柱としながら、野球・バレーボールなどのチームビジネスや、大型店との取組強化を進める。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

10年度 実績(累計) アジア・豪州 (日本からの輸出を除く)

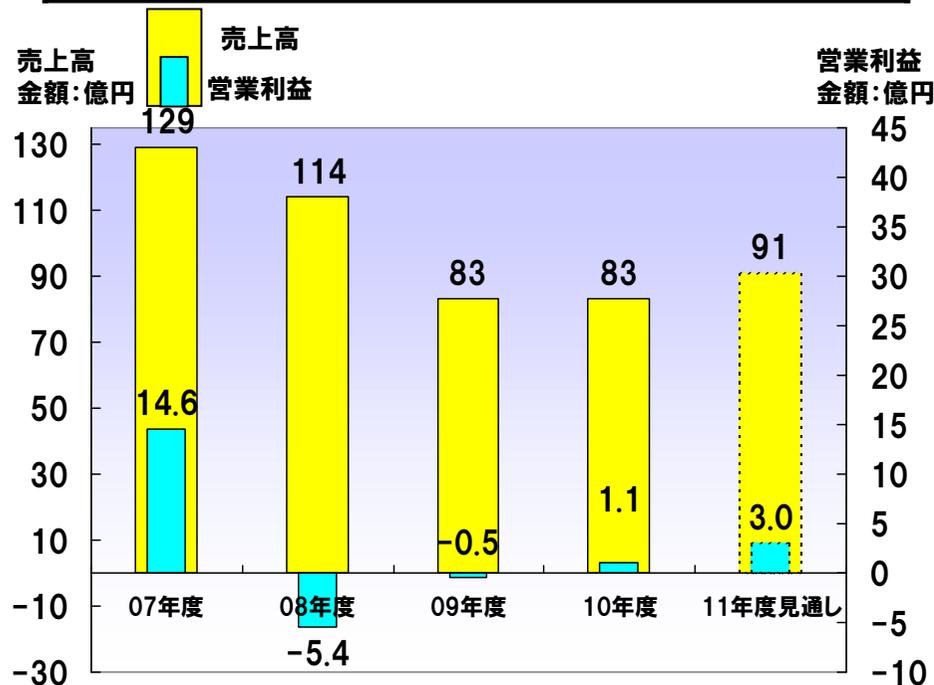


◆ 実績概要と推移

▶ 10年度累計 実績(事業別)

金額:億円

| | アジア計 | フットウェア & アパレル | ダイヤモンド | ゴルフ |
|------------|------|------------------|--------|------|
| 売上高 | 83 | 64 | 3 | 16 |
| 前期比 | 99% | 99% | 111% | 101% |
| 為替影響 除く | 102% | 102% | 112% | 102% |



◆ 10年度 状況

- ◆ 中国: 売上減少だが、店舗再編・在庫圧縮などの経営効率化を進め、収支は改善。
- ◆ 台湾: スポーツシューズを中心に、増収増益。
- ◆ 生産: 販社サイドの受注増加に伴い、生産子会社の業績も改善。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ 中国: 経営効率化を継続するとともに、<健康>と<競技>を軸に機能性商品をアピールしていく。
- ◆ 豪州: ランニング専門店を中心にシェアの向上を図る。
- ◆ 生産: 素材・設計・生産地の見直しなどにより原材料費・人件費上昇への対応を図る。

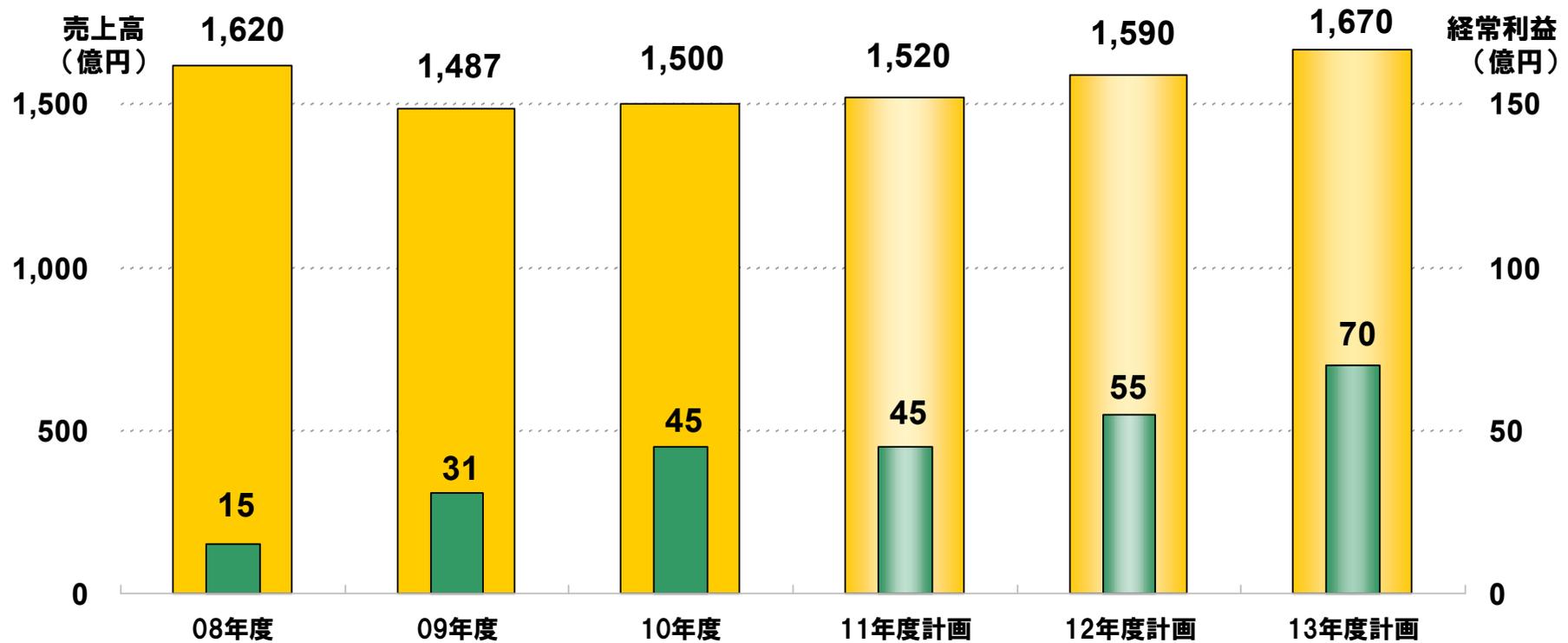
注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

中期計画（連結）



■ 売上高(左軸)
■ 経常利益(右軸)

◆ 11年度は震災影響が不透明だが、10年度実績レベルを確保する。



| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 円/USD | 103.7 | 93.5 | 87.7 | 82.5 |
| 円/GBP | 175.3 | 147.3 | 133.1 | 135 |
| 円/EUR | 144.4 | 130.6 | 113.5 | 120 |

<決算為替レート推移>
 11年度は想定レート
 (12-13年度も同レートを使用)

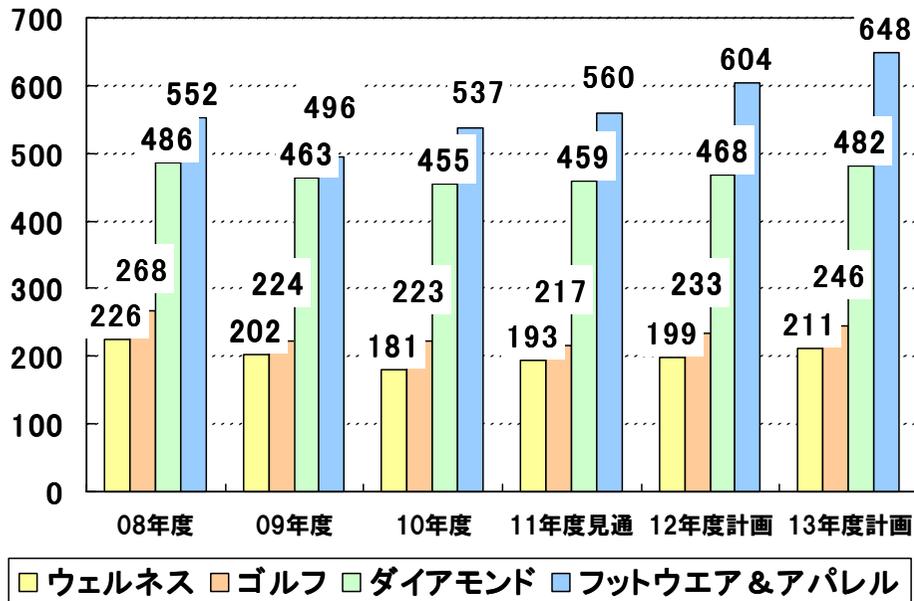
中期計画（GBU別、海外）



◆ フットウェア & アパレル事業を中心に海外での成長を促進する。

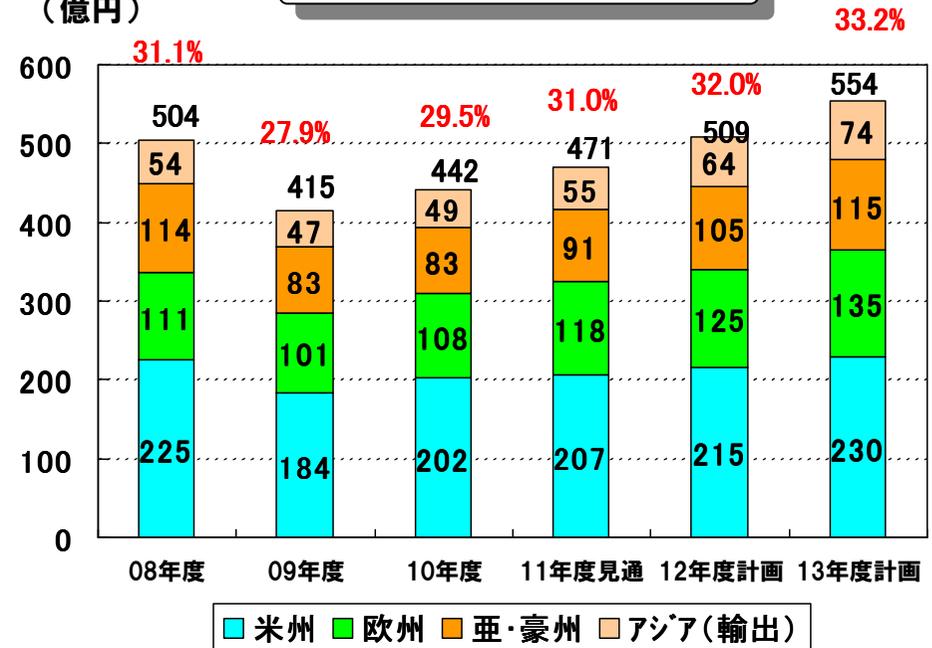
売上高
(億円)

事業別



売上高
(億円)

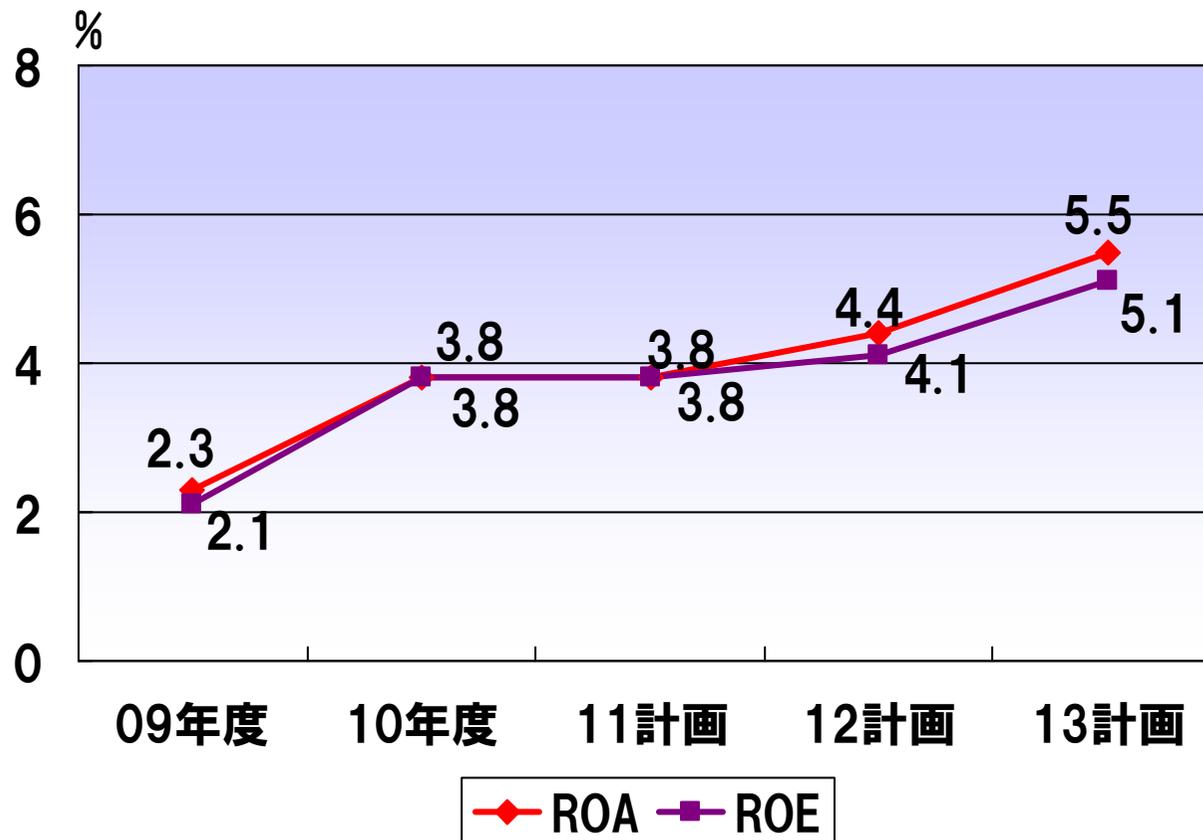
海外売上(海外売上比率)



中期計画 (ROA, ROE)



- ◆ ROA目標7%:金融危機後の市場環境悪化などで、目標との乖離が広がるが、利益率改善、在庫を中心とした資産圧縮を進め、早期での達成を目指す。



最後に



◆ 事業スローガン 「GO with Passion!」

2010年度は、まず海外での販売が回復し、第3四半期から国内販売も再成長へと転じましたが、震災影響による東日本やゴルフ品などの市場回復が未だ不透明な状態です。

しかしながら、スポーツを生業とするミズノが、日本のみならずグローバル市場で活躍することで、世の中の元気の源となると信じ、2011年度もグループ全社員、情熱を持って取り組んで参ります。

2011年度 年度方針

心機一転

信頼創造

考動闊達